繪本野山草 一

法橋保國畫圖

野山草

浪華書舗　稱觥堂版

畫本野山草叙

四時行ハれ百物成る中に山原水澤の草花變す屈指ニ若干各色を競ふて爛熳堂加恣淵明が菊を愛し茂叔が蓮を愛するの類ハ其ハ操をとりて而艶をとらぬ是賢者の物を翫ふハ志或

表ハずして真に愛すれバ之を家
世し画を嗜ミ筆を取て恒に
産とし依て今草花を図せんと欲
しかも或ハ山野に逍遥し或ハ
樹も圃に徘徊して見る所の花を
携へ葉を袖にしかも其ハ名を尋て
真偽を辨し漢名に至てハ本草

三才図会に依て是を訂し新に
の如きハ出処を追ふて名をも記す友に
其佳なる摘数十種を撰写し題而
画本野山草といふ今茲に湊川氏の
需に応して梓に鏤ハ免騁童蒙
致便宜とし且凡草花ハ風土に寒暖
肥痩ありて国々の形容同しからす

花葉ともに異なりて畫する所ハ眼の
あたり閲る所を是とす依而巻を
開く徒是を察せむ事を希ふ而已

浪華　法橋保國

畫本野山草巻之一目録

ゐこぎ笠　紅黄草　をどまれ　高麗菊

時計蘭　澤桔梗　丁子草　かさこゆり

まゐなし　くろ菜　秋菊　すいようひ　小摂く

こがねめぬきさ　大ぬれ鷺　山杜鵑　秋薊

大葉萩　清水る　さねすけ

燕麦　鬱金　立葵　戎葵千瓣

岩石蘭　岩蘭　風蘭　石斛

釣鐘さう　黄蕙

甘菊花

南陽酈縣ニ甘谷アリ水甘美ゝ上ニ多ク菊アリ水ニ落テ流下ル谷中ノ人家此水ヲ飲上壽ハ百二三十中ハ百余歳七八十ヲ下トスルナリ

紫蕙（しらん）（シケイ）

花蔓草（けまんさう）

白

花エンシレク
エンシレク〵

熊谷草（くまかへさう）

茎ノウラテラ白六
茎コフニウス生エシシ
ホシクサノシルスシ

敦盛草（あつもりさう）

苍地白キソトサキヨリ
生エシシク々内ソコヨリ同
ク々スシボシ同生エシシ

ほしれ草

いちはつ

馬藺（ばりん）

甘菊花 花ハ六月より十月まで

葉ハつねの菊に似たり 花の色白きもあり きいろもあり さしわたし一寸ばかり又八重あり 小さきかたち也 香よし その味ひ甘きをもつて甘菊といふ 菊児童ふりかけとしてもちゆる也

唐本草菊花一名女節一名女華劉蒙菊譜三十五品又三十二品范石湖菊譜七十二種今不止一種甘菊莖紫氣香味甘花深黄單葉有粥膜衣者爲眞取花作糕并鹹烹飲佳又有鴛鴦菊五月菊六月菊陸龜蒙有把菊賦曾端伯以爲佳友

志らん 三四月花咲

紫らんハ云 けいともいふ 漢名白及

葉ハ蕙の葉に似てみぢかし 花ハしかれより のびてらんのごとくさく 花のうち紫色のもあり 白きもあり 葉いろよし つぼみさき紫の色あり 又しろきもあり さきいろもあり 白き花ハ小さく 一種白きハ葉の咲るさきより葉のうち八小

葉ハ莖とともにぜんくくにわかれしかもするあり

けまん草 漢名荷苞牡丹 又黄きけまん 漢名馬芹

これハけまんのうちにぜんくふつうの花とをきけまん菊のうちにすまんの葉の形ちにしてのちの花のうちにらんのごとくなり 似る色黄なりけまんの名あまとともにさきしくべつしあり ちがひあり三四月まで咲く也

熊谷草 花三月

敦盛草 花二月

これハむらさきの色にて葉ハ敦盛草と 母衣のごとく色白く 葉ハ六くあり しまなり 敦盛草 花の形ちに似たり 花其形 漢名莪朮

ゐのこ草 やまさかの中 葉ハ楊柳の葉に似てありくつやありむちいさく いろあかきりすこし白しとありとの花のあひだよりの近 いりうらりあそれ志ろありすこし拙うれすなり 葛(蔓)生 莖とちいさくねをおろしなるうつつともいへなる又なるり 草ともむらけもいるけ又六七寸ばかり 谷かけにあり

白朮（をけら）

銀錢花（ぎんせんくわ）

らんきく

一りん草

渓蓀（あやめ）

春すかしゆり

午時花（ごじくハ）

夕錦（ゆふにしき）

鹿子百合（かのこゆり）

羽衣草（はごろもさう）

仙翁花（せんをうけ）

内朱 外ウスキ

午時花（ごじくわ）は六七月 一名金銭花 文字金銭

葉のかたちすゝきに似てたけものゝごとくちいさく
そのくきにありて花のかたちおけのなに似てさりと
ぐりよく花実赤ばけに似て色又濃紅にしてみやすくなりて
はなさき極いりつよくうらよありてさざいみりうち中なり薬
一りん立花にもよありて蓓の底にうしいろあり次にすかし
紫色此花くさ熟のりし蕚ちぢみ似て又その
つぼしたり○に似て○又りぶをよ似てり共一二寸くらいなり

錦帯花（きんたいくわ）一名夕錦草

葉は苗椒に似て葉は大小ありて八寸さ
かしら又花の茎長くしてたかく蕚にわかれ
黄あり又紅あり黄赤あり一本のうち
いろくさまく黄なり花はいろまたちいさく
えださきもあり花ひろさ七八分くらいなり

鹿子百合（かのこゆり）六七月さく

葉は百合に似てなかしくしてかさ
のくまあり又紅むらさきのかのことあり蓓も枝も大さ
百合のごとし茎は強く高さ四五尺ぐらいなり

剪秋羅（せんしうら）

せんのうけ花なぶしもげんひに似たる花ありて紅あり冬
むらさき花ありて花びらのきさ二寸四六七ちいさく

剪春羅花有二五種一春夏秋冬各以レ時名。春夏二羅色黄紅不レ佳。獨秋冬紅深色美。亦在二春時一分レ種。又一種色金黄美甚。名二金剪羅一。

のこぎり草 一名げんござう 又りしん草 又そうろうも

一本に二三十茎ありて高さ二三尺ばかり葉は細小にしてふちより鋸歯あり夏秋のあいだに白きわりなる花をさくの葉をひらり似よりいろ紅白二いろあり花さと上下ともありあり又むらさき花もあり

此本草圖經等其生如レ蒿作レ叢高五六尺一本一二十莖秋後有レ花出二於枝端一紅紫色形如二菊形一能合レ之○史記龜策傳言著状極怪妄悉不レ可レ信惟神之爾○詩經浸二彼苞著一曹風下泉之章朱註著筮草也

小苑草（せうゑんさう）

桔梗（ききやう）

しもつけ

芙蓉（ふよう）

内スシ 生エンシ
外コフン

山藤（やまふじ）

小苑葉 宿根より生ずる葉ハしをんより短くやハらかにしひろく
和生地の穀茎出るゝ事しをんのごとくにあらず又
小しをんといふ草あり花極めて小さくして白し葉茎ともしをん
のごとくにして小葉く二尺ばかりのび立むらがり七八月にひらく

桔梗 花形ハ釣がねのごとく一重あり八重白一重白八重又ひとへ紫八重
南京さき咲ハ白紫かたちのしぼりの大りん南京さき咲と
いふ六つ〇のならびひらく咲麻桔梗といふ咲より葩たくましく
咲く又咲分る葉の桔梗をせんだいに桔梗車桔梗を六七月ひらく和名ありのひふき

下野 繍線菊 花のかたちさくら川葉乃ごとくあわ色ならびつぼみに似て
茎をそれし白きをむらさきをいろあり白き花の葉ハならびに似てくさ
をたてまし葉あけありよ日光志もとつけともいふ是なる名なり
うれの事ようあるしくさきちのひぞ小葉あるゆり風凰草と
いふをはしゆえふともいふはにしたまへるしまとひらの葉
より八色し三枚しもとり四五をみすりに六月ひらきあり

芙蓉花 花ふハ桐に似てものくざりでたく花ふうにし葉ハ茄子へ

一名ハ木蓮 芙蓉の名二あり さうあいじゆとさいふ 水草芙蓉とよふ 花をむく陸なり きるを木芙蓉といふ

一對大さくさきおなじく又むかしむくげに似たれども大
きく一重あり八重ありえ花いろ色大白むらさき薄紅あり
志れ立ちかうさ二丈ばかりなるもあり又一尺ばかりなるも咲くこと
八葉立二丈ばかりなるハ木立にして古株よりわかく出る牡丹に同じ

芙蓉八九月内開有拒霜之名一名木蓮一名木
芙渠楚詞搴夫容於木末有大紅粉紅白三色又
有酔芙蓉一日之内花容三變由白而淡紅桃紅
九子芙蓉一枝土開花幾色一本上有九色魏文
帝有芙蓉園括異志有芙蓉館主芙蓉城

山藤 花のかたち豆のはなに似たり色ふかくそしの色うすし四ひら
いろくむらさきなるハめでたし似ており一すぢにつきて葉十一二三まで
ありそむ茎より運ありさかり咲事くの長さ三尺余なる見ハ野田藤
又山藤ハ茎みじかく花もおかし赤し白藤ハむ大くして茎短
志れ立葉にして木のまとしら白藤ハむけるさし三月咲なり

ゆろぐうさ

紅黄草（こうわうさう）

おだまき

地ヲウドソウ コキンレヤウエニジレク

キ

白ヲウドソウ

高麗菊（かうらいきく）

車楢草（しやちくさう）
半邊蓮（はんへんれん）

葉ハ知母のごとくうすくしてみのなるなつにんにくさく蕚とほく
ひろがりて立のびず又あふぎかさしものよく六月なさく

ききぶ海さ菜 三尺許 むきき

花のいろ桔梗むらさきのうち薄くしてそと
葉のうらハありかうらいして西花のごとし葉ハとんぼうの葉
うり似く丈ハ二三寸あまり茎むらさきいろなるのつまみつはるを
八かまれをさぶまてさしとりかふまま放下僧ともいふ

紅黄草（こうわうさう）
漢名 藤菊
かうらい菊
一名 春菊（しゆんきく）
蒿菜花（かうさいくわ）

葉ハ蜀椒（さんせう）のごとくしてむのうらハ桔梗のごとく葉ハきなるを
らハ瓣（べん）花のふちハそとなる黄色なりしてうら又みなるを
花ハうらちなる菊ハ似さうり色黄にして莟（つぼみ）さなる
つま白しなふのうらちよりむしろ葉ハ似よりいろあ
さく又むの色焦黄なるもありまた焦白もあ
またくきのびてなるさくしうてさ一二尺たるり葉ふみより
ありなふけしさなるやうなるとれたり葉まなり
くはなをしれく又とらんぞさうしてしいふ

時斗菜（とけいさう）

沢桔梗（さはききやう）

丁子草（ちやうじさう）

かのこ百合（ゆり）

花エンジグ
同クヾ
ニホイ青

まゆはき

をうひ草

すいようひ

大ぬれ鷺

小桜（こさくら）

こがね めぬれ

キ

大槃若（だいはんにや）

キ

清見ちる

さくさつけ

生エシレこ

山杜鵑（やまほとゝぎす）

秋薊（あきあざみ）

燕麦

鬱金（うこん）

地白六
生エシレカク

スジ有ハキイロ
クサクヽ
スジナキハ白

立葵（たちあふひ）

戎葵千瓣（からあふひせんえ）

巌石蘭（がんせきらん）

岩蘭（いはらん）

風蘭（ふうらん）

石斛（せきこく）

生エンシレク

山郭公（やまかつこうさう）附鳥草（とりくさ）

花のかたちつるのはしのごとくごさんまるく色ハちいさき鳥のはね
のごとくなるさくらありつるのはしのごとくごさんよくり
葉も花もいやさしきなり七八月さく　漢名三白草

からすむぎ　漢名燕麥

葉ハ雀麥のごとく花もまたおなじいろむ葉ハ莚に
とまりくろくおりし七月より花和名にハたくみやともよい
又白めくやともはるのしらりよめり

平江帶（へいこうさい）　六七八月花さく

葉ハ乾蘿菜に似てされふかくむ走れ立葉に
ありむらさきいろあざみれかたちまるく花さきさくむし
根からりすり又ひらい葉ともり小花又いろへとうなし

うこん草　鬱金（うこん）

葉ハ美人蕉に似たり花のかたち款冬（ふき）花のつけつるむ
とく花中に咲色白く出しいり又ゆき八九月花さく

葵（あふひ）　蜀葵（からあふひ）　戎葵

くさきい八重一重あり花形木槿のむのごとし　紫一重さく
重る草白くぶ重と一重あり源氏うたいろまるくむのあり
白し八重一重あり白八重一重あり花の中白し

蜀葵

又唐赤といふハむの中赤しうゑ葉蕣ねずミ色八重一重あり

石蘭（せきらん）

葉ハ赤らんまんのごとくまるく根ハ土の上に二三
寸あり岩のしくうちに年々に数出る後ハ岩石のおもし
をつたふ花七八寸より出るむのかたちハ大紫に似く色ちらんし
岩石蘭といふ六七月さくさく蘭ともいふなり

おごらん

葉ハおそむく花のく葉れさ花色し葉のさ二八節（ふし）
して紫漆とぬるがごとし花うすき白おし色ちいさ
黄あり一寸程に出て後くり開花形ハ紫花に似て又お
むすに一むかうく淡紫色ありさきらき花と七八月さく

風蘭（ふうらん）　おさ葉（ば）　六月花

葉ハ柳葉にしてあつくゆりし花ちいさく花
のいろ白く小らん紫花れごし又をごらんありかや
らんありすおらんハ葉大葉にしてむの色黄らんの小さきごと
し葉のおもりさく根あがりからすとの木かすくや
らんハ葉ふ對生しまゝがく樓れのかたちのごとし　声まおさらん

とのふ又天人草ともいふ桔んといふあり葉は茎のごとく小
えださきれふりたり　極て細かなる花さくゆりのごとくなり

石斛　又まきせうを木斛と云ものあり

さゝ葉に似てありく少紫にして茎はひげなる一ふしづゝくりきを花鳳仙花の色しく白し又うすくれなゐ　棕櫚　皮まくはくさつりものゝきくなるあそぶ正二月花さき

石斛生二六安山谷水傍石上一今荊州廣州郡及温州亦有レ之以二廣南者一為レ佳多在二山谷中一五月生レ苗茎似二竹節一節間出二碎葉一七月開レ花十月結レ實其根細長黄色七月八月採レ茎以二桑灰湯一沃レ之色如レ金陰乾用

はりがねかづら

花のかたちほうちやくのごとくをの色白くうすきあかきまだらありたるは紫のまだらぬりたるもありまじりて葉風車のかたちに似たりともなふらしふ付てつる又もあまたある似たり山中の谷にあり正月より八月まで

釣鐘かづら

黄蕙

黄蕙（わうくゐ）葉はしゆんらんに似てひろくやはらかなりはるのころらんのごとし色はくうらんなり葉より花くきいだし一くきにあり黄のむらさきのもありこれをもつてなづくともはしんぜさいとうなどいふ根はかうりうに似てありがんぜさるゝじしやうはなをさく